

美術Ⅱ

科目ナンバリング ARL-102

【Ⅲ】 選択 2単位

岩崎 達也

1. 授業の概要(ねらい)

日本の美術に親しむための授業です。秋期は、江戸時代から幕末、明治時代を中心に、毎回厳選した作品を紹介します。限られた作品を深く、多角的に読み解くことで、作品そのものの魅力はもちろんのこと、作品がつくられた時代の技術や文化の特徴、歴史的背景も学べる内容を目指します。また折にふれ、美術館や博物館で開催されている展覧会を紹介し、受講生が積極的に実作品に触れる機会を増やしたいと思います。

2. 授業の到達目標

受講生が基礎教養を身につけることを目標とします。具体的には、授業で取り上げる内容の中から好きな作品や作者、興味を抱く時代を見つけ、それについて解説できること。

3. 成績評価の方法および基準

出席率+授業内課題(40%)と学期末レポート(60%)をもとに評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は特にありません。もし、授業理解を深めたい場合には、下記の参考文献がおすすめです。

参考文献

辻惟雄 『カラー版 日本美術史』 美術出版社

5. 準備学修の内容

できる範囲で構わないので、ジャンルは問わず、美術館、博物館に行き、美術作品を鑑賞すること。

6. その他履修上の注意事項

オンライン授業にすることがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス 授業の内容と進め方の説明
- 【第2回】 江戸時代 江戸狩野と京狩野の絵画
- 【第3回】 江戸時代 琳派の美①「風神雷神図」の秘密 俵屋宗達と尾形光琳
- 【第4回】 江戸時代 琳派の美② 酒井抱一と鈴木其一
- 【第5回】 江戸時代 浮世絵 鈴木春信と歌麿、写楽
- 【第6回】 江戸時代 浮世絵の風景画 北斎と広重
- 【第7回】 幕末の浮世絵 国芳、月岡芳年
- 【第8回】 江戸時代 伊藤若冲と奇想の系譜
- 【第9回】 江戸時代 京都の絵画 円山応挙の写生画
- 【第10回】 江戸時代 京都の絵画 文人画の世界
- 【第11回】 明治時代 日本画 フェノロサと岡倉天心と日本画の近代化
- 【第12回】 明治時代 洋画 日本近代洋画の始まり
- 【第13回】 明治時代 彫刻・工芸・建築
- 【第14回】 明治時代 官設展覧会の設立
- 【第15回】 まとめ、レポート提出